

カリキュラム区分		4カリ		シラバス区分		学部生		
科目区分	科目コード	履修時期		開講学科	選択区分	科目名（上段：和名、下段：英名）	時間	単位
		学年	学期					
専門科目	425	2年	後期	臨床検査学科	必修	臨床微生物学Ⅰ Clinical MicrobiologyⅠ	30	2
担当教員								
美間 健彦								
関連するDPキーワード（看護学科）								
	① 幅広い視野と豊かな感性を身につけ、人々の権利や意思を尊重した倫理的な看護が実践できる。							
	② 他者との関係性を成立・発展させるためのコミュニケーション能力を身につけている。							
	③ 地域で生活する複雑・多様な対象を、専門的知識に基づき総合的に理解するための基礎的能力を身につけている。							
	④ 看護の対象が、その人らしく生きられるように、科学的根拠に基づいた看護が実践できる能力を身につけている。							
	⑤ 地域社会及び保健・医療・福祉分野における多職種と連携・協働し、看護職の役割を拡大できる基礎的能力を身につけている。							
	⑥ 看護専門職として、主体的・創造的に継続学習に取り組む能力を身につけている。							
	⑦ グローバルな視点で看護実践を科学的に探究し、看護を発展させる基礎的能力を身につけている。							
関連するDPキーワード（臨床検査学科）								
	① 幅広い知識・教養をもとに、医学検査の対象となる人を総合的に理解し、その人の権利や意思を尊重することができる。							
	○ ② 医学的に必要な専門知識・技術を備え、検査データを総合的に解析する力を身につけている。							
	○ ③ 多職種間で連携・協働しながら医学検査の専門家として貢献できる力を身につけている。							
	○ ④ 医学検査とそれぞれに関連した幅広い分野の発展・向上のために、自らの能力を高める自己教育力を身につけている。							
	⑤ 科学的思考力に基づき、医学検査の進歩・発展に対応できる学究的態度を身につけている。							
	⑥ 医学検査を通して、社会の多様性に合わせた貢献ができる基礎的能力を身につけている。							
授業目的								
各種病原細菌の生息場所、特徴および病原性についての知識を修得する。さらに呼吸器系感染症、腸管系感染症、髄膜炎・脳炎、性感染症、皮膚・軟部組織感染症、肝・胆道系などの臓器別感染症についての知識を修得する。また種々の薬剤耐性菌についての検査方法および治療薬についての知識を修得する。								
到達目標（授業目標）								
	① 各種病原細菌の形態と染色性を説明できる。							
	② 各種病原細菌の性状を説明できる。							
	③ 各種病原細菌の病原性を説明できる。							
	④ 各種病原細菌の同定検査法について説明できる。							
	④ 各種病原細菌の薬剤感受性および薬剤感受性試験について説明できる。							
回	授業計画（項目・内容と方法・担当者）							
1回	好気性または通性嫌気性グラム陽性球菌（1）：Staphylococcus属菌の特徴と病原性および検査方法、皮膚化膿性炎症、血流感染症、MRSAによる院内感染などについて講義する。							

2回	好気性または通性嫌気性グラム陽性球菌（2）：Streptococcus属菌の特徴と病原性および検査方法、呼吸器系感染症、軟部組織感染症などについて講義する。
3回	グラム陰性球菌および球桿菌：Neisseria属、Moraxella属の種類、特徴、病原性および検査方法、髄膜炎、尿道炎などについて講義する。
4回	通性嫌気性グラム陰性桿菌（1）：腸内細菌科（Enterobacteriaceae）の種類、特徴、病原性および検査方法について講義する。
5回	通性嫌気性グラム陰性桿菌（2）：Escherichia属、Klebsiella属、Proteus属、Yersinia属などの特徴、病原性および尿路感染症、肝・胆道系感染症、術後感染症などについて講義する。
6回	通性嫌気性グラム陰性桿菌（3）：Vibrio属などの特徴、腸管感染症、軟部組織感染症などの感染症および検査方法について講義する。
7回	通性嫌気性グラム陰性桿菌（4）：Pasteurella属、Haemophilus属の特徴と病原性および検査方法、髄膜炎、呼吸器感染症などについて講義する。
8回	好気性グラム陰性桿菌：Pseudomonas属、Bordetella属の種類、特徴、病原性および検査方法、日和見感染症、MDRPなどの耐性菌による院内感染について講義する。
9回	微好気性グラム陰性らせん菌：Campylobacter属、Helicobacter属の特徴、病原性および検査方法、食中毒、胃粘膜障害などの感染症について講義する。
10回	好気性または通性嫌気性グラム陽性桿菌など：Listeria属、Corynebacterium属、Bacillus属、Nocardia属などの特徴と病原性および検査方法について講義する。
11回	偏性嫌気性菌：Bacteroides属、Prevotella属などの嫌気性グラム陰性菌の特徴と病原性および感染症、検査方法、Clostridium属などの嫌気性グラム陽性菌の特徴と病原性および感染症、検査方法について講義する。
12回	放線菌：Actinomyces属などの放線菌の特徴と病原性および感染症、検査方法について講義する。
13回	抗酸菌：結核菌およびその他のMycobacterium属の特徴と病原性および検査方法について講義する。
14回	マイコプラズマ・リケッチア：Rickettsia科、Ehrlichia科、Mycoplasma科、Ureaplasma属の特徴と病原性および検査方法について講義する。
15回	クラミジア・スピロヘータ・レプトスピラ：Chlamydia属、Chlamydophila属、Treponema属、Leptospira属の特徴と病原性および検査方法、非定型肺炎、性感染症(STD)などについて講義する。
16回	
17回	
18回	
19回	
20回	
21回	
22回	
23回	
24回	
25回	
26回	
27回	
28回	
29回	
30回	
成績評価方法及び基準	
定期試験（筆記試験）（100％）で評価する。60点以上を合格とする。	
教科書	松本哲哉 編「最新 臨床検査学講座 臨床微生物学」（医歯薬出版）
参考図書等	吉田眞一・柳 雄介・吉開泰信 編「戸田細菌学」（南山堂）
授業時間外の学習について（授業準備のための指示）	
前回の項目について、配布プリントおよび教科書等を参考に復習してください。次回の項目について、教科書等を参考に予習してください。	
関連科目	

前科目	424	微生物学								
後科目	427	微生物学実習	428	臨床微生物学実習	444	院内感染管理学	448	臨地実習III	449	医学検査診断学 I
実務家教員										
備考										